

第3章 未来につなぐ

STEP6 発展継続「どうやって地域に根付く持続可能な活動にしていくか」

10年後のワールデン こうしたい！夢

STEP 6

発展継続

「どうやって地域に根付く持続可能な活動にしていくか」

- ✓ 自主的主体的な地域活動はどうあるといい？
- ✓ 自主的主体的な地域活動にするために必要なものは？
- ✓ 地域に根付いていくプロセスとポイントは？

米作りにチャレンジ、組織も立ち上げ、ただ今発展進行中！



新たなチャレンジ！ ワールドン活動 3つの旗印と米作り

収穫祭やメンバーの声かけをきっかけに、近くの幼稚園のお母さんや子どもたちが合同作業に来てくれるようになり、ガーデンはますますにぎやかになりました。

実行委員会では、これまでの活動をふりかえり、課題を出し合うとともに、これからのビジョンを話し合いました。

「楽しい！」だけで終わってはいけません。

多文化共生の地域づくりにつなげなければ…ということで、2014年度の最後にみんなで考えた「地域の3年後のビジョン」は次のことでした。

「地域で多様な国籍の人と豊かな関係性を築き、ワールドンに多様な国籍の人が参画し定着化する。」

そしてそれを踏まえて、新たにワールドン活動の3つの旗印を掲げました。国籍に関わらず、地域住民の次の3つの場となるようなワールドンにしよう！

- (1) 地域の情報交換の場
- (2) 防災&子どもの食育の場
- (3) 老若男女・世代間の交流の場

そして、2015年には田んぼもお借りし、米づくりにもチャレンジすることになりました。





課題は外国人住民の参加と定着・・・

とはいうものの、肝心の外国人住民がなかなか活動に参加してくれません。収穫祭には来てくれても、そのあとが続かないのです。

似たような活動をしているグループのところに視察に行って話を聞いたり、「外国人住民との関わり方・つながり方」と題した勉強会をしたり。

これぞという答えが出るわけではありませんが、「あそこのアパートに外国人が住んでみたいだから、声かけてみようか?」「小学校にお願いして、外国籍の子どもたちに広報してもらったらどうだろう?」「お祭りに外国人が来ていたから、ワールドンのことを話しておいたよ。」「メンバー1人が1人ずつ友達を連れてこれるといいんだけどな。」

2年前は、「外国人住民っていったいどこに住んでるの?」と言っていたメンバーが、いろいろなアイデアや情報を持ち寄ってくれます。

まだまだ課題はあるけれど、みんなで一緒に地域のことを考えるこの時間、このプロセスにわたしたちが目指す地域づくりの手ごたえを感じることができました。





2016年 住民主体の持続可能な活動をめざして、組織を立ち上げる！

ガーデンを開設して3年目となる2016年の目標は、
「持続可能な活動ができる体制をつくること」と
「外国人住民の参画を増やすこと」。

1つ目の目標である「地域住民による主体的かつ持続可能な活動」を目指して、任意団体「ワールド・スマイル・ガーデンーツ木」を立ち上げることにしました。

これまで実行委員会の前には、刈谷市、NIED・国際理解教育センター、愛知県国際交流協会の3者が集まり、事務局会議を行っていました。3者で活動の進行状況を確認したり、実行委員会の議題を整理したり、予算を考えたりする場でした。

すべての状況、すべての情報、すべてのプロセスを関わる人みんなで共有することは、対等な協働関係を築く上で大切なことです。そこで、「ワールド・スマイル・ガーデンーツ木」の代表1人・副代表2人も事務局会議に加わりました。

これまで愛知県国際交流協会や刈谷市が管理していた会計についても住民の会計担当を決め、引き継ぎを図るとともに、実行委員会では、予算の執行状況やイベントごとの支出見込みの確認を行い、収支の見える化を図っています。

このように、少しずつ「ワールドプロジェクトの運営」のすべてを地域住民が担っていけるような体制を整えてきています。

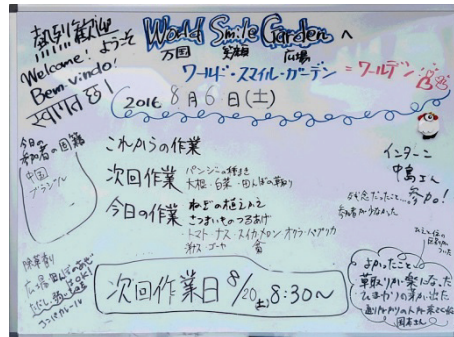
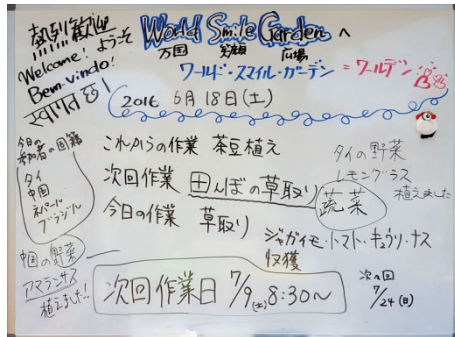




外国人住民の参画を広げるための新たなアイデア！

2つめの目標「外国人を含めた地域住民の参画を広げる」ために、合同作業のあと収穫物を味わったり、お茶を飲んだりしながら、誰でも参加できるプチミーティングをすることにしました。

平日の夜の実行委員会にはなかなか出席できない住民もいるので、気軽に意見を言えたり、企画に加わったりできる場を作ったのです。作業内容の共有、次回の作業の確認、前回の実行委員会の積み残し課題の検討などマイタケハウスのホワイトボードに記録し、写真を撮り、メーリングリストで共有しています。



さらに、もっと外国人住民に参画していただくため、「外国人リポーター」をお願いしました。これまで、一生懸命多言語のチラシを配布してきましたが、なかなか思うように情報が届かない経験から「くちコミ」に近い方法での情報発信を考えたのです。

合同作業や実行委員会に参加してもらい、その様子や感想などをフェイスブックで母語で発信してもらっています。日本人とは少し異なる視点から書かれていて、日本人住民にとっても気づきのある、楽しいレポートとなっています。

ワールド・スマイル・ガーデン / World Smile Garden さんが写真10件を追加しました。
2016年11月1日

平成28年10月16日 合同作業のレポート（日本語は下にあります）
10月16日、国際欢乐菜园子迎来了大丰收的日子。春天种下的秧苗已经完全成熟了，经过大家的辛勤劳动，收获到了稻米。除了稻米，菜园子的花生，红薯，四季豆都获得了大丰收。小朋友们也帮忙收获了很多红薯，拿着小铁锹从地里挖出红薯的那一刻她们都非常开心！
为了庆祝丰收，国际菜园子还举行了一个双庆会，大家把收获的新鲜蔬菜做成料理，菜园子的大婶们还把菜园子种的洛神花做成了非常好吃的果酱，大家把果酱涂在面包上，吃上一口都说非常好吃，味道实在好极了！大家边劳动边交流，边吃边交流，非常开心。在这次收获的过程中我还向大家学到了很多知识，认识了新朋友，过了非常有意义的一上午。
11月5日国际欢乐菜园子又有联合活动，欢迎大家来参加！... もっと見る
翻訳を見る

ワールド・スマイル・ガーデン / World Smile Garden さんが1月13日の写真8件を追加しました。
1月13日

平成29年1月9日 合同作業レポート（日本語は下にあります）
Feliz Ano Novo a todos!
Hoje, 9 de janeiro, foi o primeiro dia de trabalhos no Worlden. Plantamos mudas e sementes de cebolinha, espinafre, ervilhas...
もっと見る
翻訳を見る



田んぼを2倍に広げ、地域の運動会にも参画し、 ワールドンただいま発展進行中！

畑では、2016年もたくさんの野菜を収穫することができました。
田んぼは去年の2倍の面積に広げ、
300kgのお米を収穫し、その分寄付も増えました。

無農薬でとっても美味しい野菜と米です。
しかも、採りたては格別！ 収穫するたびに、採れたてを食べるたびに、
子どももおとなも、日本人も外国人もみんな笑顔になります。

「今度、この野菜作ってみたい？」
「これを使ったハーブティー講座やってみたい？」
「今年は、花壇、どんなテーマでお花を植える？」
「ピザ釜作って農園ピザパーティーがしたい！」
(これは2016年のクリスマス会で実現しました！)
やりたいことはまだまだたくさんあります。

地域のイベントにも積極的に参加します。
2016年は、自治会がメンバーとして関わってくれている強みを活かし、
一ツ木町の運動会に「多文化共生」チームとして参加しました。
「そんなイベントがあるなんて初めて知った」という外国人住民や、
「こんなに外国の方が住んでいらっやっったのね」と驚きの日本人住民。

こうやって少しずつ距離が縮まっていくことに
ワールドンが貢献できたとしたらとても嬉しいこと。
活動を進める中には困難もあるけれど、
ピンチはチャンス！ みんなの智恵とチカラと愛情を持ち寄って
住民主体のワールド・スマイル・ガーデン、ただいま発展進行中！



クリスマス会 の様子

2016年12月11日(日)に行われた合同作業&クリスマス会の様子です。

9:00～10:30
合同作業
植え付け・収穫など



10:30～11:00
お楽しみゲーム
ビンゴ・じゃんけん



11:00～12:00
お食事・談話タイム
五平餅・おでん・ピザ等



12:00～12:30
プレゼント
サンタ・交換会



クリスマス会事前準備と担当割

- ① アトラクションの進行・アナウンス:熊倉和
- ② メインツリーのかざりつけ:庄田、AIA
- ③ マイタケハウスのかざりつけ:庄田、小松
- ④ ビンゴゲーム機械借用:北浦
- ⑤ ゲームの進行:北浦、安井秀、熊倉和
- ⑥ サンタさん役:近藤
- ⑦ サンタさん衣装借用:石垣
- ⑧ おでん、おにぎり作り:石垣
- ⑨ おにぎり焼き作業:野々山、安井秀
- ⑩ BGM アンプ、マイク借用:近藤
- ⑪ クリスマスソングCD:AIA
- ⑫ 電源・コードリール用意:小松
- ⑬ ピザ釜設営:坂倉、酒井巳
- ⑭ ピザ購入:AIA
- ⑮ 子供用お菓子購入:小松
- ⑯ 現地安全確認(ピザ釜等・消火器):小松
- ⑰ 飲み物準備:加藤
- ⑱ ケーブルテレビ対応:近藤



10年後のワールデン



近藤重光

イベントを定例化していて、黙っていても人が集まる場になっている。子どももおとなも多様な国の人が集って畑作業ができています。

参加者が増えて、みんな楽しく仲よし。孫のさらちゃんもお手伝いするようになっている。

現在のつながりが広がり、活動を地道に続けている。「多文化共生」の実現をめざしながら、一ツ木のご近所付き合いの活性化へもつなぐことができている。外国の人たちにとって、日本文化や日本語を知る機会・場となっている。

外国人も含め、より多くの人が集い、気軽に遊びに来れる場になっている。地域の一般の人たちにも、もっとこの活動と場について知ってもらっている。



坂倉聖児

幼稚園でのつながりなどを活かして、若い世代・子育て世代が中心となって、多様な国の人が集い、交流している。子どもたちにとっても、出会いの場となっていて、ワールデンで知り合ったふたりが結婚するなんてことになったらおもしろい。多国籍ガーデンができています。



アントウネス・エシヴァウト



畑和子



安井勝義



こうしたい！夢 (1/3)



石川弘之

活動の輪が広がり、みんなが積極的に参加している。自分たちで育てた野菜の収穫を楽しんでいる。

もっといろいろな人が来ている。日頃からちょっと立ち寄って休憩したり、座っていける場になっている。ワールデンが「一ツ木地区のもの」になっている。



小池ソノア

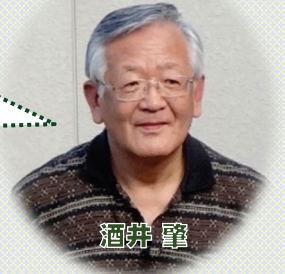
活動の企画を子どもたちがしていて、もっと楽しい活動になっている。もっと外国の人の参加が増えている。



西村さん

子どもの参加者も増やして行って、小さい頃から自然と地域に溶け込めるような場所になっている。

土に触れることが楽しめるこの活動が、10年後も変わらず続いている。地域の人々にもっと浸透して身近に感じられる場になっている。



酒井 賢

人々が知り合う場、気楽に来て、おしゃべりを楽しめる場となっている。知立市でもコミュニティガーデンができていて、相互に交流をしている。



佐藤さん

活動が地域に根つき、外国の人も含めて老若男女が集う場所になっている。



北浦 稔



矢田部 寿子



10年後のワールドデン

世界のいろいろな植物が集まっていて、国ごとの有名な作物をブロックごとに作って、違いを楽しんでいる。いま参加している子どもたちが育ち、畑作業の中心となっている。



劉さん



安井秀秋

メンバーが、どこで会ってもあいさつできるようなワールドデン活動以外でもつながりのある関係ができています。

外国人の参加が増え、その中からリーダーとなる人が企画から関わっている。お父さんの参加がもっと増えて、今参加している若い世代や子どもたちが中心となって活動している。自分たちの世代も、できる限り参加し続けている。ワールドデンがーツ木の地域活動の中心に！

作物の収穫までのプロセスに多様な人たちが関わり、共に汗を流しながら、すてきな育ち合い、支え合いの場になっている。

ーツ木の憩いの場・サロン場になっていて、みんなが一緒に畑を楽しめている。孫が活動を続けている。収穫物の即売ができるようになっている。



石垣玉江



小松芳昭



平野木恵



こうしたい！夢 (2/3)

みんなが仲良く作業していて、子どもたちの遊びの場になっている。外国の人をもっとたくさん参加している。

もっと多様な人が集まり、いろんな野菜や花を育てて、その収穫と食べることをみんなで楽しんでいる。地域には土いじりが好きだけど土地がないという人たちもいる。そういう人の一部ではなくて、より多くの人に参加する場になっている。

多くの子どもたちが、地域のおとなたちと一緒に、メンバーの一員として活動に参加し、楽しむことができる。

一ツ木ワールデンをモデルに他の場所でもこのような多文化交流の場ができている。

今参加している人たちが続けて活動していて、もっと多くの中学生や高校生が参加している。

まちのみんながワールデンを知っている。外国の人たちは、ここで日本人と知り合い、一緒に地域で楽しく暮らしている。



回=カスさん



藤本さん



石原ささ子



榊原彩音



熊倉克宏



漣 セイ



10年後のワールドデン

異なる国籍の人同士は、言葉が壁になるけれど、ワールドデンは、その壁を越え、みんなで野菜を育て、みんなで収穫して、みんなで採りたて野菜の料理を味わうことができる場になっている。同じ地域で暮らしている人たちと交流して、畑以外で会っても挨拶しあえる友だちができる。



野々山定弘

"全世界の縮図"のような、多文化で多様な人の居場所になっている。



熊倉和香

外国の人が気軽に来て、子どもたちとも交流している。いろいろな情報交換の場になっている。

町内の行事に国籍に関わらず、役員として積極的に参加している。個人同士、家族ぐるみの交流ができている。お互いの国の言葉、情報等の勉強会を定期的実施している。ワールドデンに常に交流できる場がある。行けば誰かに会える。茶など飲みながら話のできる憩いの場所。定例イベントが定着し、誰でも役員ができる。災害時等の緊急避難場所となっている。



近藤さん

みんなで楽しく集まる場所になっている。一ツ木が、国籍に関わらずみんなが楽しく暮らせる地域になっていて、ワールドデンがその中心になっている。



榎原幸子



酒井俊則



こうしたい！夢 (3/3)

ワールドデンに来て、農作業を通してあそぶのが楽しい！ということをや若い世代に引き継いでほしい。農作業を通して、関わる人の変化も楽しい。設備の手入れを続けながら、アウトドア好きの人とか、新たな人が加わりやすい環境づくりができています。あそび心を大切に、ワールドデンが「おとなの遊園地」になっている。



庭田 嘉宏

みんなが仲良くられる、その助けとなる場になっている。いろいろな特技を持った人が集まってくる場になっている。



酒井 己喜夫

【関心・尊重・互助】

誰もが、地域の住民に関心を持ち、それぞれの文化を大切に、認めあい、助けあっている。

刈谷市国際化・多文化共生 推進計画における 「地域」の将来ビジョン (抜粋)

【出会い・交流・共有】

人々が交流する場があり、様々な国の文化と出会い、多様な情報を提供しあっている。



ワールドデンで収穫した野菜を使った美味しいお料理の数々。その中から手軽にできて美味しいレシピです。

パステル

材料

- ・パステル用生地
(春巻き・餃子の皮、パイ生地でも代用可)
- ・ひき肉
- ・たまねぎ
- ・油 (揚げる用)

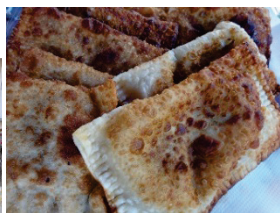
①ひき肉とたまねぎを炒め、塩、こしょうで味付けをする

②パステル用生地に炒めたひき肉を入れ、フォークの背を使って生地を閉じる

*具材は、ハムやチーズ、ゆで卵やエビなど、何を入れてもOK。

③中火で温めた低めの油できつね色になるまで揚げれば完成！

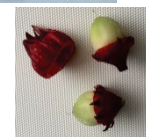
★ブラジルのファストフードで、具材や味付けは家庭によってさまざま！子どもたちとワイワイといろいろな具材を包むのも楽しい。



ローゼルジャム

材料

- ・ローゼルのガクとホウ (赤い部分)
- ・砂糖 ローゼルの半量程度
- ・りんご 1個
- ・はちみつ 少々



①ローゼルのガクとホウを水洗いして水気を切る

②りんごをすりおろす

③鍋やフライパンに①、砂糖、すりおろしたりんごを入れ、火にかける

④灰汁を取りながら焦げ付かないように弱火で煮詰め、とろみが出てきたらはちみつを加え完成！

*砂糖の量はお好みに合わせて調整してください。はちみつは入れなくてもOK。

*水の代わりにすりおろしたりんごを入れるのがポイント！甘さととろみが出ます。



大根の葉炒め

材料

- ・大根の葉
- ・塩 (少量)
- ・サラダ油 (適量)



①大根の葉はみじん切りにする

②フライパンを温める

③フライパンにサラダ油を入れて、大根の葉を入れる

④火が通ったら、塩をふり、水気がなくなるくらいまで炒め、火を止めれば、完成！

*サラダ油でもゴマ油でもお好みに合わせてください

*温かいご飯に混ぜると、大根の葉の混ぜご飯になります。

資料編

数字で見るワールデンの4年間

2016年度のワールデン

コミュニティガーデンの可能性

まだまだ妄想中！ワールデン・ドリーム

愛知県刈谷市一ツ木町はこんなところ

プロジェクトに協働・協力していただいた方々・メンバー

ワールドデンプロジェクトの2013年度～2016年度の4年間または最新の実績を10の数字で表しました。

1 ワールドデンの面積

約 **1,320**㎡

- ・畑550㎡ (約0.56反)
- ・田770㎡ (約0.78反)
(田の1年目330㎡)



2 お米の収量

約 **450**kg

- ・1年目は150kg (玄米)
(作付面積330㎡)
- ・2年目は300kg (玄米)
(作付面積770㎡)
- ・品種:あいちのかおり



3 参加者の国籍数

11カ国



4 実行委員の人数

37人

- ・2017年2月現在
- ・地域住民27人
- ・AIA・刈谷市・NIED 10人



5 ミーティングの回数

75回

- ・検討会・実行委員会32回
(各回20人前後が参加)
- ・事務局会議28回
- ・プチミーティング11回
- ・イベントチーム会4回



6 勉強会・視察の回数

11回

- ・勉強会9回…コミュニティガーデンとは/
日進市の共同農園/市民と協働によるガー
デンづくり/ガーデンのデザイン/花壇づくり
のノウハウ/草花の選び方手入れの仕方/知
多市の多文化共生の取組み/Facebookの使い
方/フィリピン人組織の活動事例
- ・視察2回…美濃加茂市/三鷹市・武蔵野市



7 作った案山子の数

18体

・1年目8体



・2年目10体



8 栽培したお花やハーブの種類

約50種類

ビオラ、パンジー、葉牡丹、ストックマイム、コスモス、チューリップ、アネモネ、ムスカリ、ヒヤシンス、クロッカス、スイセン、ユリ、クリスマスローズ、ツルニチニチソウ、ヘリクリサム・ペティオラレ、グレコマ、ディコンドラ、リシマキア・ヌムラリア、パゴバ、スミレ、アリッサム、オレンジスター、なでしこ、スイートピー、シャングリラ、レンゲ、プリムラ、ハツユキカズラ、フウセンカズラ、アルメリア、イベリス、ガーデンシクラメン、スサビオサ、

ストック、ダスティーミラー、アジュガ、ゴールドライダー、ラナンキュラス、キンギョソウ、スカシユリ、ひまわり、セージ、タイム、ペパーミント、アップルミント、グレープフルーツミント、パイナップルミント、チョコレートミント、ヤマボウシ、ハナミズキ など



9 合同作業&イベントの延べ参加者数

約1,000人

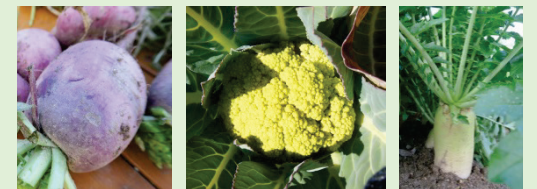
- ・2014年度～2016年度の3年間
- ・合同作業&イベント13回、約700人
- ・合同作業26回、約300人
- ・イベントの内容…収穫祭/苗植え・種まき/田植え/稲刈り/収穫した野菜や米を使った料理（焼き芋、焼きおにぎり、ブラジル料理、ピザなど）/多国籍ガーデン開園/案山子づくり/防災グッズづくり/炊き出し体験/多文化クイズ/クリスマス会/地域運動会参加/おこしもん&水餃子 など

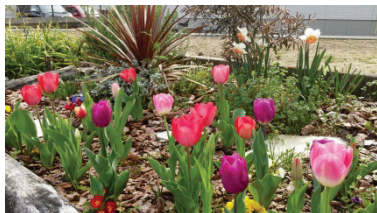
10 栽培した野菜等の種類

約70種類

- ・根菜類7種…大根、紫人参、白人参、ラディッシュ、じゃがいも、里芋、サツマイモ
- ・葉菜類30種…キャベツ、白菜、レタス、サニーレタス、ロメインレタス、小松菜、チンゲンサイ、ホウレン草、春菊、水菜、つみ菜、わけぎ、チコリ、西洋菜花、ねぎ、からし菜、アマランサス、ブロッコリー、カリフラワー、ロマネスコ、フェンネル、スティックセニョール、コールラビ、バジル、ルッコラ、イタリアンパセリ、アスパラガス、ニンニク、玉葱、ケール

- ・果菜類14種…トマト、ミニトマト、長なす、洋ナス、キュウリ、オクラ、トウモロコシ、パプリカ、ピーマン、トウガラシ、ゴーヤ、カボチャ、そうめんかぼちゃ、サトウキビ
- ・豆類7種…枝豆、茶豆、空豆、落花生、スナックエンドウ、小豆、フェイジョン
- ・果物類10種…スイカ、菊メロン、柑橘、レモン、ライム、みかん、ブラックベリー、ブルーベリー、苺、ローゼル
- ・きのこ類1種…マイタケ など



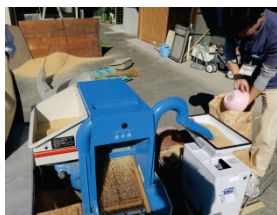


<p>実行委員会</p>	<p>第1回 ○2016年の年間計画とミーティングのあり方検討 ○2016年度の収支予算の検討</p>		<p>第2回 ○多様な国籍の人に関わってもらう手立て検討 ○外国人リポーター設置紹介</p>		<p>第3回 ○9～10月のイベントの立案・検討 ○2016年度予算の承認 ○本冊子についての意見交換</p>
<p>合同作業</p>	<p>田んぼのそうじ 夏野菜定植</p>	<p>田んぼの代掻き 夏野菜定植 夏用花壇</p>	<p>田植え 夏野菜収穫 中国・タイ野菜の播種</p>	<p>田んぼの草取り 夏野菜収穫 種まき</p>	<p>田んぼのヒエ取り 夏野菜収穫 植え替え・ツルあげ</p>
<p>収穫物</p>					
	<p>4月</p>	<p>5月</p>	<p>6月</p>	<p>7月</p>	<p>8月</p>
<p>イベント</p>	<p>懇親会</p>	<p>マイタケハウス披露パーティ</p>	<p>多文化共生勉強会 田植え体験 収穫祭</p>	<p>プチ収穫祭</p>	<p>プチ収穫祭</p>





	第4回 ○2ヶ月間の活動の共有 ○イモ掘り、クリスマス会の検討 ○本冊子についての意見交換		第5回 ○2ヶ月間の活動と支出の共有 ○1～2月に行うイベントの検討 ○本冊子についての意見交換		第6回 ○2016年度のふりかえり ○2017年度のビジョン	
田んぼのヒエ取り 冬野菜定植	稲刈り 収穫物の乾燥 粃すり・精米 種まき・定植	花壇に花植え 秋野菜収穫	秋野菜収穫 春野菜定植	春野菜の 種まき定植	田んぼの四隅起 草取り	草取り 春野菜収穫
9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月(予定)
案山子づくり プチ収穫祭	稲刈り 収穫祭 一ツ木町運動会	芋ほり 焼き芋大会	クリスマス会	プチ収穫祭	プチ収穫祭	スプリング フェスティバル



そもそも、コミュニティガーデンとは？

「コミュニティガーデン」とは、地域住民が主体となって、地域のために場所の選定から造成、維持管理までのすべてのプロセスを自主的な活動で支えているガーデンという「場」とその「活動」を指します。「共通の目的を持って協力し合って運営する」という点で、自分の区画の耕作が中心となる「市民農園」とは異なります。アメリカが発祥といわれ、欧米ではこのコミュニティガーデン活動が広く取り組まれており、世界大会なども定期的に行われています。



コミュニティガーデンはこんな空間・場になることができます

世代や国籍を超えた 出会いと会話、協働の場

いろいろな人が集まってくるコミュニティガーデン。一緒に作業をすることで、共通の話題もでき、会話がはずみます。子どもも大人も国籍も関係なく、自由に参加できる空間です。

美しい景観と 憩いを提供してくれる場

緑や心地よい木陰、花や野菜が実る様子に心が癒され、豊かでゆとりある気持ちになります。町が美しくなれば、治安もよくなり、安全にもつながります。

地域を活性化してくれる場

自分たちが作ったガーデンを通して、地域に対する愛着と誇りをもつことができます。人の行き来やつながりは地域を活性化してくれます。

環境問題や社会問題など 学びの場

大人も子どもも、自然を楽しみながら環境について学んだり、地域のことを学んだりすることができます。欧米では、障害者や問題を抱えた少年たちなどの居場所になるとともに社会復帰を応援する場にもなっています。

子どもたちの食育の場

野菜を育てる過程を通して、こどもやお母さんたちが「食べ物」について考える場にもなります。作業の中で、レシピの交換や試食などもでき、「食」の楽しさと大切さにも気づきます。

災害時は避難、情報交換の場

様々な人がつながるコミュニティガーデンは、災害時の拠点になります。また、コミュニティガーデンを通して、地域のことを知ったり、地域の人たちと話をすることで、地域ぐるみで防災意識をもつことにもつながります。

参考になるウェブサイト・文献

- アメリカ コミュニティガーデニング協会 (ACGA)
<https://communitygarden.org/>
- Green Thumb (ニューヨーク公園局の下部組織で、コミュニティガーデン活動を応援する公共団体)
<http://greenthumbnyc.org/>
- 特定非営利活動法人 NPO birth (東京都を拠点に、人と自然と社会をつなぐ活動を支援する中間支援組織型のNPO)
<http://www.npo-birth.org/>
- 『コミュニティガーデン 市民が進める緑のまちづくり』越川秀治著 学芸出版社
- 『英国の持続可能な地域づくり』中島恵理著 サステイナブル・コミュニティ研究所企画 学芸出版社

コミュニティガーデンの可能性を踏まえ、刈谷市、NIED・国際理解教育センター、愛知県国際交流協会もそれぞれワールドに夢を描いています。今後、実現に向けて、ワールド・スマイル・ガーデンツボのメンバーや地域住民の皆さんと議論していこうと考えています。

愛知教育大学や近くの学校、刈谷市公園緑地課、教育委員会、刈谷市の農協、ボーイスカウト・ガールスカウト、おやじの会など刈谷市のさまざまな人々を巻き込んでいく

現在の実行委員を中心に、若いママさんチーム、高校生チーム、小・中学生チームなど、多様な住民がそれぞれ企画をしてワールドでプロジェクトを実施できるようにする

コミュニティカフェを実施し、ワールドで収穫したハーブでハーブティーを飲みながら、オーガニックやフェアトレード、環境、世界とのつながりなどについてみんなで考えたり、お料理教室を実施する

日本の伝統文化、伝統料理などを学ぶ講座を実施する



ブラジルナイト、フィリピンデーなど外国人住民企画のイベントを実施する

日本全国から視察を受け入れ、全国のコミュニティとつながる

青空日本語教室、ポルトガル語教室、中国語教室を実施する



小・中学生が考えたイベントを実施し、大人を招待してもらう

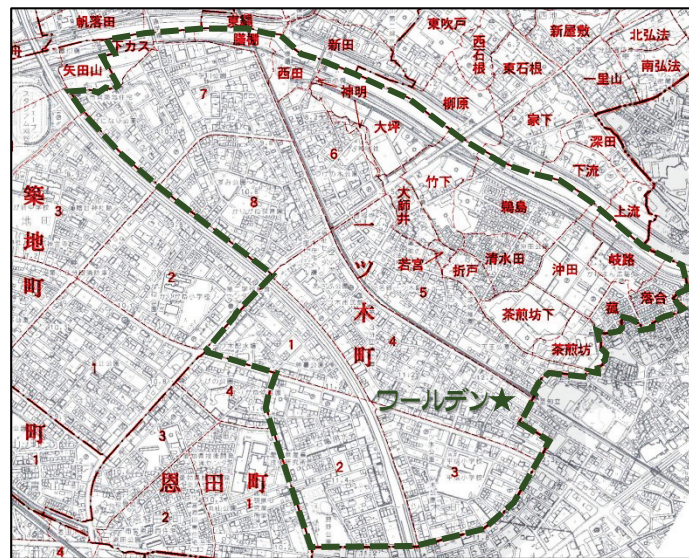
春節祭やイースターなど、世界のさまざまなイベントをその国の人に教えてもらいながら体験する

刈谷市は愛知県のほぼ中央に位置しています。

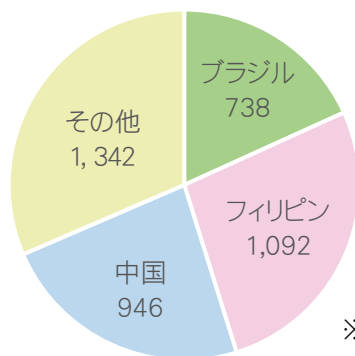
古くは刈谷城の城下町として栄え、現在は最先端技術を駆使した自動車関連産業の工場が多く立ち並びとともに、国の天然記念物に指定されたカキツバタ群落で有名な池や緑豊かな公園など、美しい自然と産業と文化が調和したものづくりのまちとして発展してきました。

2016年6月末現在、刈谷市の人口149,993人のうち、外国人住民数は4,078人(人口比2.71%)で、愛知県54市町村のうち12番目に多い地域です。

一ツ木町は、刈谷市の中でも外国人住民が最も多く住んでいる地域で、2012年3月策定の「刈谷市国際化・多文化共生推進計画」でモデル地域となっているところです。



● 刈谷市の外国人住民数



※図表はすべて
2017年1月現在

● 刈谷市の外国人住民が多い上位5町

順位	町名	外国人住民数
1	一ツ木町	364
2	野田町	361
3	小垣江町	338
4	築地町	259
5	井ヶ谷町	156

● 一ツ木町の外国人住民の国籍別内訳

国籍	人数
フィリピン	150
ブラジル	59
中国	50
韓国・朝鮮	44
スリランカ	23
ベトナム	17
ネパール	7
ペルー	4
モンゴル	3
インドネシア	3
タイ	2
トルコ	1
ミャンマー	1
合計	364

総人口比 3.4%



ワールドデンのプロジェクトが始まる前の2013年に刈谷市が一つ木町に住む16歳以上のすべての外国人273名を対象に行ったアンケートの結果は以下の通りでした。アンケートの結果、「現状では一つ木町の日本人と外国人の関係は一部に限られているが、多くの外国人が『一つ木町の人たちと交流したい』『一つ木町のコミュニティに貢献したい』と思っている」ということがわかりました。アンケート結果の一部をご紹介します。

回収率 25% (68名)

国籍 フィリピン 37名 (54%)
中国 20名 (29%)
ブラジル 7名 (10%)
韓国・朝鮮 4名 (6%)

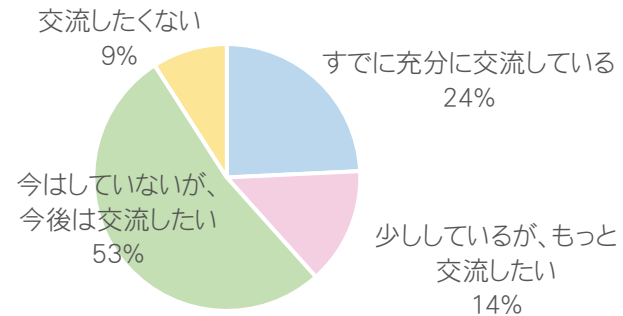
* アンケート実施当時、一つ木町に住む外国人住民は、フィリピン176名、ブラジル114名、中国46名、韓国・朝鮮20名、その他23名でした。

性別 男 29名 (43%) 女 38名 (56%)

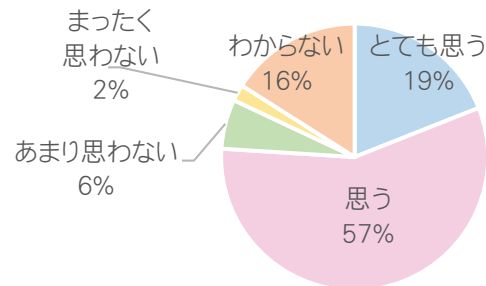
居住年数 5年未満 28名 (41%)
5～10年未満 23名 (34%)
10年以上 16名 (23%)

定住意向 できる限り住み続けたい
50名 (74%)

● 地域の人たちと交流したいと思いますか？



● 一つ木町のコミュニティの一員として何か役に立ちたいと思いますか？



● どんな企画があるといいと思いますか？

- ◇ 外国人と日本人がお互いの文化や習慣を学び、楽しむ。
- ◇ 外国人と日本人と一緒に活動してふれあう。
- ◇ 外国人と日本人が、知り合い、おしゃべりをする。
- ◇ 同じ外国の外国人同士が知り合い、助け合えるようにする。
- ◇ 外国人の日本での暮らしを支える。
- ◇ 外国人が既存の活動に参加しやすくする。
- ◇ 外国人と日本人が、一緒に企画を考え、実施する。
- ◇ 外国人家庭と日本人家庭が、家族ぐるみの関係を育む。
など。

● 具体的にやりたいこと、貢献できそうなことは？

- ◇ 日本人と外国人が参加できるスポーツやバーベキューでの触れ合い。
- ◇ 同じ障害を持つ日本人と出会いたい。英語の手話を教え、日本語の手話を学びたい。
- ◇ いろいろな文化を教えてほしい。自分が教えられることは教えたい。
- ◇ 地区の祭りや運動会などのイベントに参加したい。
- ◇ 一つ木町で日本人と外国人の友達を作り、一つ木町の活動に自分の力を出したい。
- ◇ 中国語を学びたい日本人、外国人に教えたい。
- ◇ 一つ木町の日本人と外国人が一緒になるコミュニティ。
- ◇ まだわからない。でも協力したい。
など。

フォトジャーナリスト
大塚敦子

園芸福祉専門家
守屋保美

フィリピン人移住者センター(FMC)
ネストール・プノ

特定非営利活動法人
にっしん市民環境ネット
寺田裕美

特定非営利活動法人
コミュニティサポーター ほっぷ
加藤賀唯

愛知淑徳大学 名誉教授
榎田勝利

特定非営利活動法人
NPO birth
佐藤留美

ちたビジョンプロジェクト
竹内 綾
篠原小百合

特定非営利活動法人
多文化共生リソースセンター東海
河村槇子

ガーデンデザイナー
山本洋見

岐阜県美濃加茂市
多文化共生アグリ交流グループ

小池ソニア (外国人レポーター)

趙 セイ (外国人レポーター)

特定非営利活動法人
NIED・国際理解教育センター



刈谷市
市民協働課



公益財団法人
愛知県国際交流協会



ワールド・スマイル・ガーデン



- ◇ 平成小学校の北側の遊歩道沿いにある畑と田んぼで、合同作業やイベントなどを行っています。
- ◇ 実行委員会は一ツ木市民館で行っています。
- ◇ 合同作業などの開催日や活動の様子については、Facebook をご覧ください。
- ◇ 視察や活動についてのお問い合わせは、ワールド・スマイル・ガーデン一ツ木のEメールにご連絡ください。
(worldenhitotsugi@gmail.com)

活動の様子



地域づくりを企画するためのアイデアBOOK
ワールドデン物語
～緑とやさしさを育む多文化共生コミュニティガーデン～
2017年2月

発行 公益財団法人 愛知県国際交流協会
〒460-0001
名古屋市中区三の丸2-6-1 あいち国際プラザ
TEL : (052) 961-8746
Eメール : koryu@aia.pref.aichi.jp

編集 NPO法人 NIED・国際理解教育センター

印刷・製本 駒田印刷株式会社

※ この事業は、一般財団法人自治体国際化協会の助成事業により実施されています。

